

随意契約理由書

1 分解整備車両名

38m級梯子付消防自動車（岡山800は1153）

2009年式 MLFH5-40R

2 数量

1台

3 指名業者

岡山市北区大供一丁目6番3号

株式会社 岡山森田ポンプ

4 分解整備期間

令和3年8月18日から令和3年12月31日

5 指名理由

- (1) 消防車両の中でも特殊な梯子車は、梯子本体、作動装置、操作装置等の構造のほか、安全を確保するための多くの制御装置の個々に至るまでが、国の定めた安全基準に準じてメーカーが独自に設計し、製造されている。このことから、分解整備には数多くの特殊部品の加工並びに調達のほか熟練された経験豊かな技術と整備機器といった設備、さらには、多くの検査時間も必要とされている。こうした分解整備には、設備機器の整った製造元で行うことにより整備内容の信頼性が高まり、運用する側にも安心を与え、同時に整備手順も速やかなことから工期の短縮が図られる。災害へ備える体制を早期に復帰させることにより市民の安全・安心も確保される。

また、メーカー独自に設計し、製造されている梯子車に装備されている特殊な部品や制御機械には、高度な独自技術が多く使用されていることから、主要な部品の多くが他社へ供給されていない。したがって、独自の技術により製造されている部品の供給並びに交換は他社では不可能である。

- (2) 平成19年3月の消防庁より出された「消防用車両の安全基準」において、梯子車のオーバーホールの実施者は製造者又はそれに準ずる整備施設、整備技術を有する整備事業者とされている。

以上により、当車両は株式会社モリタ製であるため、同社の代理店で、納入業者でもある株式会社岡山森田ポンプを指名するものです。

6 その他（根拠法令）

地方自治法施行令第167条の2第1項2号による。